



会員向けアンケート 2023 結果のご報告

子育てひろば全国連絡協議会(通称:ひろば全協)では、2023 年から 3 年間の中期計画に次の重点テーマを設定しています。

中期計画ビジョン『ともに支える。こどもと家庭に寄り添う拠点』

重点テーマ① 地域子育て支援拠点の価値の発信と社会的認知度の向上

重点テーマ② 会員と共に育てる豊かな地域子育て支援

重点テーマ③ 企業や行政をはじめとした多様な関係者とのつながりの強化

今回は、重点テーマ②の「会員と共に育てる豊かな地域子育て支援」に基づいて、会員の皆さまに事業の認知度やニーズ・期待などを伺い、今後の事業に反映させていきたいと考えアンケートをお願いいたしました。

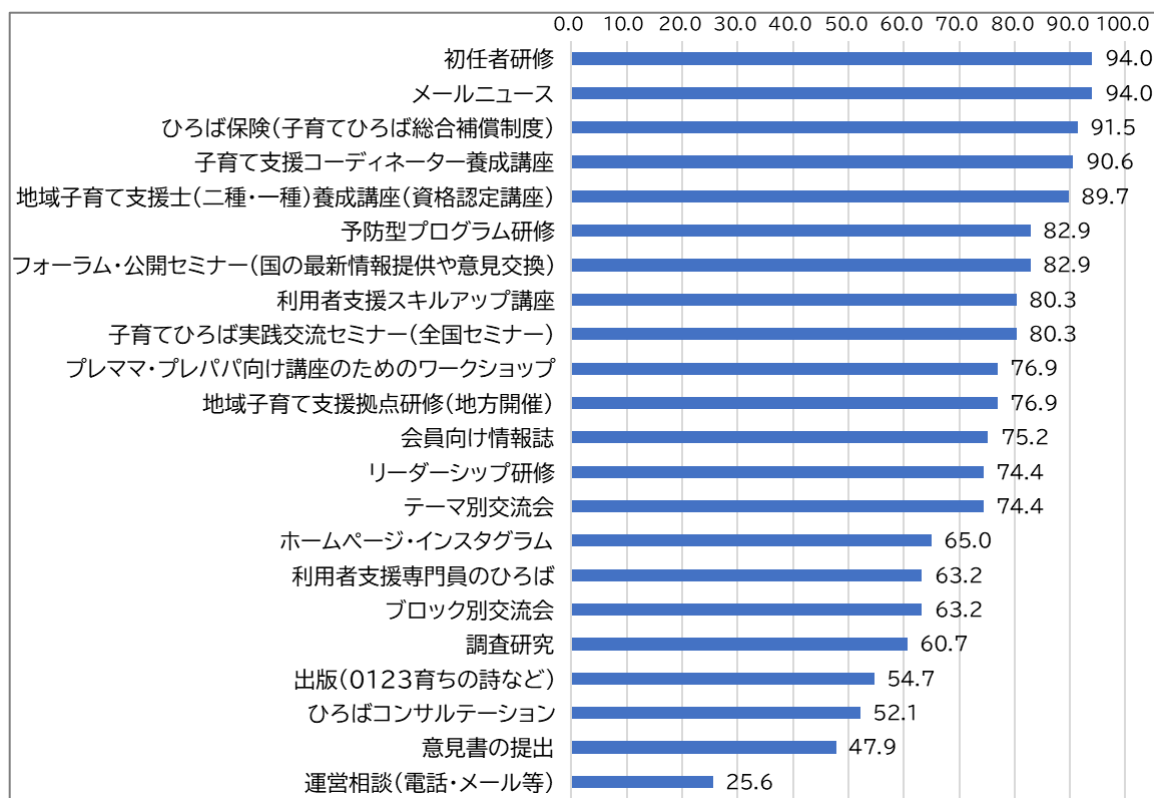
■調査概要

- ・テーマ 会員向けアンケート
- ・調査方法 Web アンケート
- ・調査期間 2023 年 10 月 30 日～11 月 13 日
 - ・調査対象 ひろば全協全会員
 - ・回答数 117 拠点(地域子育て支援拠点等の子育てひろば)
- ・回答者属性

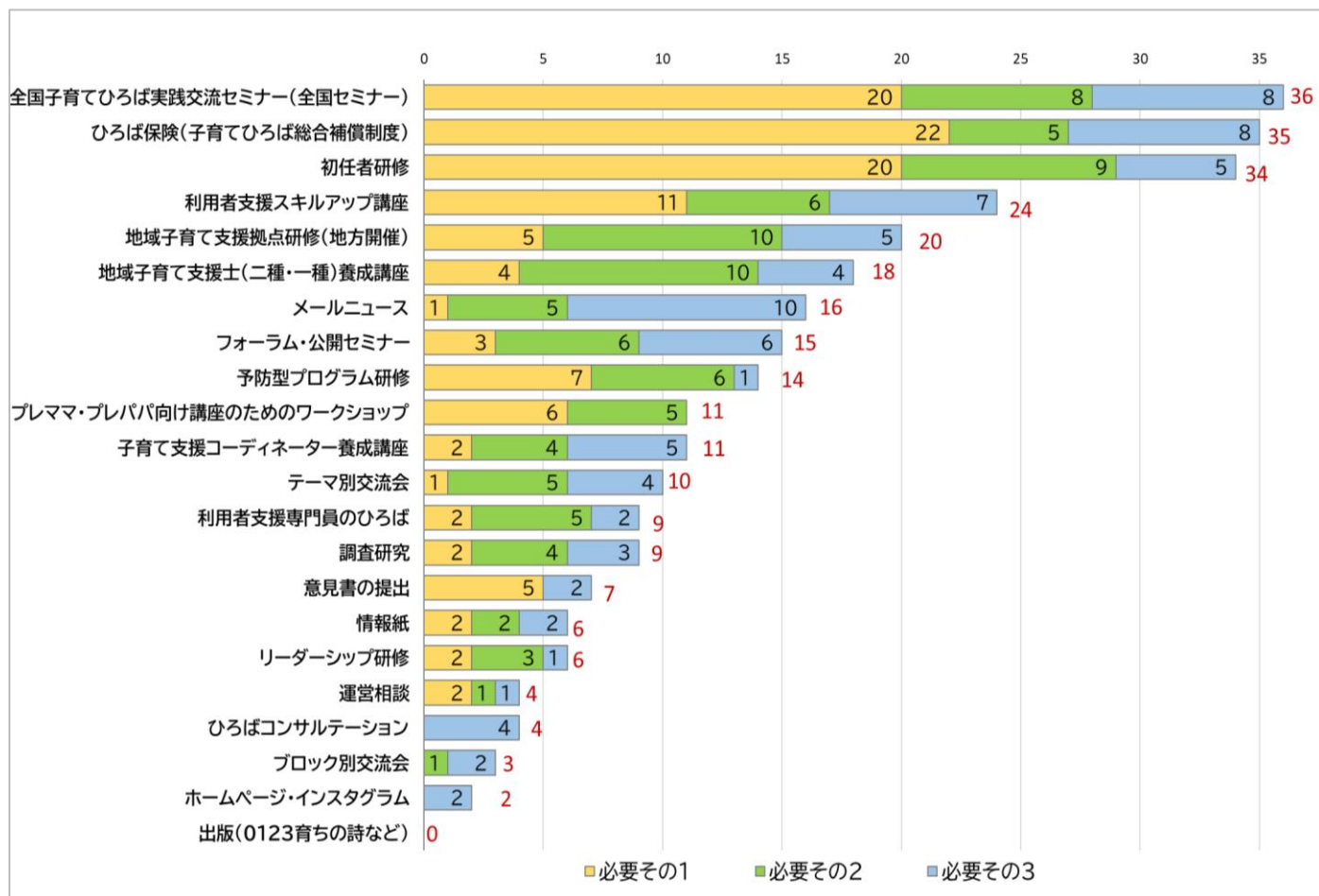
ひろば管理者	51
ひろばスタッフ	32
法人代表	22
事務局	5
理事	4
その他	3
総計	117

1. ひろば全協の事業で知っているもの

(複数回答) (単位: %)



2. 上記項目からあなたが特に必要だと思うものを最大3つ選択



3. 必要だと思うものを選択した理由

(前ページのグラフの回答の多い項目順に掲載)

◆全国子育てひろば実践交流セミナー(全国セミナー)
タイムリーな話題が得られるため
内容が充実しており、今後のひろば運営にとっても役立ちます
国の動向や全国のひろばの取り組みがわかるので(類似回答複数あり)
他県の施設の情報を詳しく知りたいので
最新の情報や全国の先進的な事例なども聞けてとても勉強になっています
各自治体で実施しているひろばの横のつながりのきっかけにしたい
全国各地で活動する実践者の仲間と交流や情報交換ができるため(類似回答複数あり)
国の方針を聞くことが出来る。地方では聞けない先生方の話を聞ける
全国規模での支援の事業内容等が学べるから
他地域の実践を知ることができ、活動の具体的な展開の参考になります(類似回答複数あり)
子ども家庭庁の考えがわかるため(類似回答複数あり)
情報交換や他施設の取り組みを知る機会になるから
各地の実践者の生の声、発表を聞くことで、学びとふりかえりが得られる
参加してみたスタッフからも、志気の高まりがあった
常に情報交換をして、より良い支援をしたいから
全国レベルでの意見交換や情報共有を行うことで、当自治体の課題がより分かり易くなるため
全国レベルで学んだり、交流することで、実践に活かせることが多いから
各地域での子育て支援活動などについて強化が必要だと思うから
沢山の地域の人と話すことで取り入れたいことが見つかったり、目から鱗が落ちることがあるから
全国セミナーに限らず、支援者の学びや交流はスタッフにとっても大切な機会になっているため
現状を把握し他者との情報交換を通じて日々の研鑽をしていきたい
幅広く知識や疑問の共有ができ、参加した後は仕事へのモチベーションがあがる
直接会えることと、最新の情報が手に入るため
他拠点の活動や目的・理念などを知ることによって自拠点のスキルアップになる
◆ひろば保険(子育てひろば総合補償制度)
安定的な運営のために必要(類似回答複数あり)
一時預かり事業実施のために必要であるため
保険料が安く、掛けやすいため
ひろばの運営上、保険加入が必須なので(類似回答複数あり)
活動するうえで当事者も参加者も万が一に備えることは重要(類似回答複数あり)
支援室内での事故、ケガについて保険があることで運営側も安心できるため
ひろばの実態にあわせて傷害、賠償がセットされていて便利
ひろばに特化した保険は他にはないので、ありがたい(類似回答複数あり)
ひろば内での事故怪我に対応するものは不可欠であるから
利用者や事業所を守るために必要不可欠なものだから
ひろば専門の保険は入りやすい
団体保険で、事務処理などの大変さが軽減されて助かります
ひろば全協に入るきっかけになる
ひろば保険があるからこそ安心してひろば運営させてもらっている(類似回答複数あり)
ひろばの保険 他の保険会社を知らないため
◆初任者研修
初任者にも丁寧に研修をしていただける良い機会になっています
ひろばスタッフの役割を知るため
ひろばの概要や支援方法など、基本的な知識獲得の為(類似回答複数あり)
利用者同士をつなぐスキルはひろばにとって重要な学びと思う
ひろば事業に携わる中で基本のことをまんべんなく押さえておく必要があると思います
初任者に、つどいの広場について理解しておいてほしい内容がある

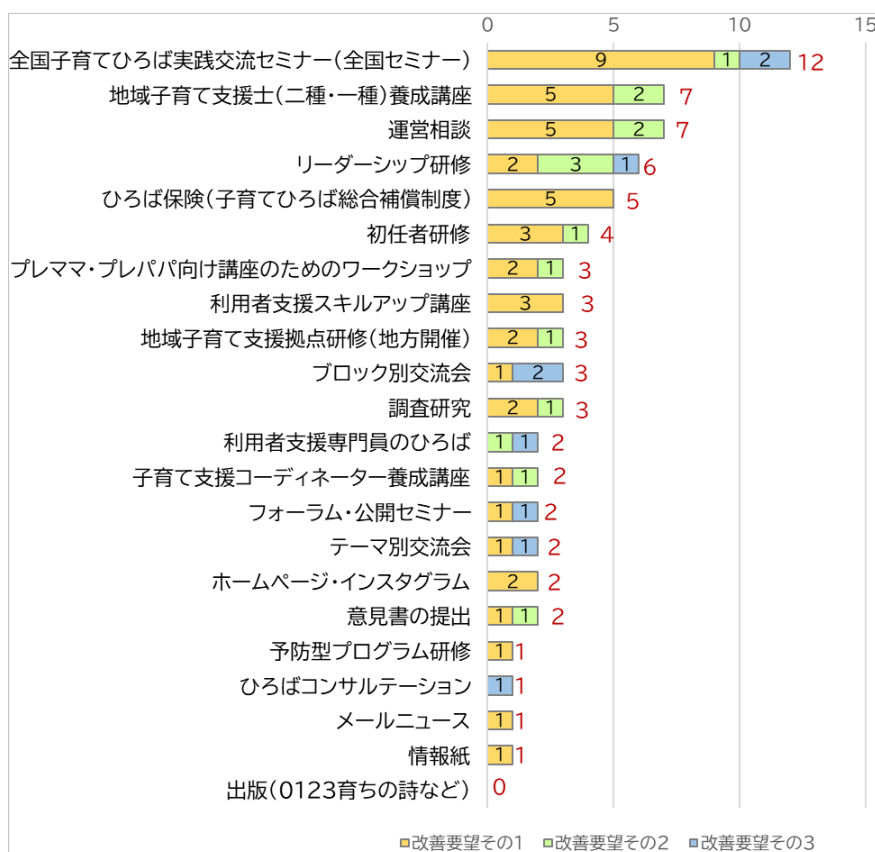
新スタッフが受講したあと、改めてスタッフ全員で共有することで、スキルが保たれる
子育て支援を行うための基礎を学ぶために必要だと考えています
子育て支援もどんどん変化しているため、基本を知っておくことが重要と考えます
ひろばの目的、主旨が理解できる
初任スタッフの学びの場として必要だと思います(類似回答複数あり)
スタッフとしての基本を学び他のひろばスタッフと共に学べる為
私たちのひろばも新しいスタッフにはこちらの研修を受けてもらい、「ひろば」の基本的知識を学んでもらっています
子育て支援についての基本的な役割等を知ることができるから
子育て支援拠点に勤務するにあたり基本的な理解のため
資格を持っていなくてもある程度の知識を持って活動すべきと思うので
後任育成のため、「ガイドライン」を元に研修があることは必要だと思います
利用者を迎える心構えを丁寧に研修していただけるため
初めて利用者支援をされる方に利用者支援の仕方を説明するのは難しいから
新しく入ったスタッフは全員参加してもらってます
子育て支援の概要が理解できることとオンラインで受けやすい
支援の仕事に従事するにあたり心構えや勉強になる
新しいスタッフが子育て支援の仕事の基本的なことを学ぶため
初めて活動する人には必須の基本の学びなので続けてほしい
◆利用者支援スキルアップ講座
利用者支援は人と人の関わりのため難しさもあるから
経験も大切だと思いますが、教えてもらって初めて気づくことも多々あるので必要だと思う
利用者支援についての研修は他ではなかなかない(類似回答複数あり)
支援者の確保はどれも急務であると考えるが人材育成まで余裕がないことが多いから
利用者の多様化や社会環境の変化に対応した支援スキルアップを目指したい
利用者支援の在り方を模索中なので、どのように取り組んでいけばよいか示してもらいたいから
利用者支援について、知識不足だと感じているため
現場での悩み解決に繋がりそう
日常の広場からの目線を変えた支援が必要と感じる
利用者支援をしていく中で、適切な支援を継続していくためにも必要だと思います
常に子育て環境は更新するので支援する側もそれについていく必要があるから
子育て支援コーディネーターの資質向上
仕事を継続していく中で学びと気づきの機会は大切だと思う
スキルアップをはかりたいので(類似回答複数あり)
利用者支援事業は新しい分野で実践者は地域に少ないため専門家からの学びや支援を実践している人同士での学び合いが必要
職員の資質の向上が必要だと思うため
◆地域子育て支援拠点研修(地方開催)
地域によって制度が違ったりするので
他団体と交流することが必要
情報を得たり交流する場が必要だから(類似回答複数あり)
近くて行ける場所で、他の参考になる実践や行政の今の考え方が学べるから(類似回答複数あり)
新しい情報を含め、常に進化していく子育て支援を感じ学ぶことができるから
地域の中で支援の内容が見える化され、情報交換できる場が必要と思う
ほかのひろば等の運営などの意見交換
全国から実践例や情報が集まり、大変参考になる。また、行政説明も聞くことができる
近場で身近な地域の事例等を学べるから(類似回答複数あり)
他県の拠点との意見交換や情報共有に得るものが大きく、全国セミナーに出席できないスタッフが地方開催は出席できるため
行政からの最新情報を知ることができる
新たに事業を開始する法人やスタッフ向けに
各自治体で子育て支援の重点事業は違うので、拠点がある自治体の支援が何を求めているのか知りたい

◆地域子育て支援士(二種・一種)養成講座
子育て支援の基本を学ぶことができる(類似回答複数あり)
現状に適した講話や、グループワークができたので、勉強になった
子育て支援に携わりたいと思った時に受講でき、支援者として求められるスキルを習得できるから
特に2種。拠点スタッフにとって世の中に確立された『資格』がない。拠点に特化した内容を学べる、資格が得られる
つどいの広場に関わる専門研修として大事であり、本人の意識向上につながる講座である
基本的な対応の他、知識を得ることで様々な状況に適切な対応ができる。地域の子育て家庭を適切に支援していくことができる
子育て支援に関わるスタッフの質の向上に必要だと思うため(類似回答複数あり)
広い視野で広場運営を考えられる。全国に支援者仲間ができ、励みになる
地域子育て支援士の資格を取得することによる職員の意識向上
支援者のスキルアップになる。「資格取得」がモチベーションアップに繋がる(類似回答複数あり)
保育士資格がなくても支援者として学びを深め実践にあたることができ、人材育成ができる
自信が受けてとても役に立った。一人でも多くの支援員に受けてほしい講座
子育て支援拠点のスタッフとしての根幹となるものを学ぶことができる
二種は養成課程の学生も受講できる
◆メールニュース
子育て事業の全国的な動きが分かるから
メールをいただくことで研修申し込みなどを考えるきっかけになります
ひろば全協のニュースは、国の子育て支援の動向を分かりやすく、早い段階で知らせてくれるから
国の動向など、新しい情報が欲しいから(類似回答複数あり)
なかなか参加できませんが、情報はありがたい
研修などがいつあるのか、情報がすぐ受け取れるから
行政の動きや、全国での動向を知るために、参考にしています
スタッフの情報閲覧がメールだと共有しやすい
自分から研修を探すのは難しいのでひろば全協からの研修などのお知らせは、自分にあった研修を受けることができている
メールでお知らせが来ることで、情報を得るきっかけとなる
定期的にお知らせをいただくことで、業務で見逃しそうな研修も忘れずに参加できるから
◆フォーラム・公開セミナー
最新の支援について情報を得ることができ、開催方法もオンラインが活用されているから(類似回答複数あり)
地方では聞く機会のない講師の方の講演や講座などが、オンラインで受けられるのはありがたい
その時々が多様な専門知識を学ぶことができるため(類似回答複数あり)
全国的なひろばの研修、情報収集も必要と思われる
国の最新情報を得ることができる(類似回答複数あり)
研修すべてありがたいとスタッフ分担して参加しています
地域にいながら、オンラインなどで気軽に学べるのがよい
今の国の動きの情報を得ることができる。他の施設の事例から学べる、横のつながりができる
◆予防型プログラム研修
ひろばのもつ予防的支援を考えた時、一番必要なことだと思うから
拠点で、どのように展開していけばいいのかわかるために必要だと思います
職員の知識向上、スキルアップの為(類似回答複数あり)
グループワークを通じて利用者さん同士交流しやすく共感ができる研修だと思うので
子育て家庭の孤立化や育児不安などを解消するためには利用者同士が話せる場所、機会を持つことがとても大切だと思うから
利用者の成長について考えさせられる
グループワークのポイントが理解でき、スタッフが実践することが出来た
ひろばの予防的な観点から、講座のやり方が具体的に書いてあり大変わかりやすい
最近の親御さんたちは交流に苦手意識が強い感じがするから、つなぐ場が必要
利用者のニーズを把握するため
今年度受けたが、改めて気づかされることがあったため
ママ達のおしゃべり会などを企画するときに、とても参考になっている

◆プレママ・プレパパ向け講座のためのワークショップ
切れ目のない支援活動を地道に活動していきたい為 必要だと思っている為
ひろばの利用年齢の低年齢化を感じ、早期からの繋がりを考えているため(類似回答複数あり)
現場において、産んでからでは遅く妊娠期から支援が必要な親子が多数みられるため
身動きがとれる妊娠中に、産後のことを学ぶことはもちろんですが、講座を通してお友だちづくりもできたらいいと思う
0歳の虐待が多いことからプレママから繋がる工夫を皆でしていけたらよいと思う
妊娠期から地域とつながる手段の一つとなるため(類似回答複数あり)
◆子育て支援コーディネーター養成講座
スタッフの資質の向上と資格の取得のため
県で利用者支援専門員の養成講座を受講してもフォローアップがない
広場での交流を通じて育児を主体的に取り組める企画力を培いたい
利用者支援専門員の研修として活用できるため
今年度スタッフが初めて受講しますが、地域子育て支援を担うために必要だと思う
子育て支援拠点で全体のコーディネートをしていくうえで必要なため
自分自身受講した時、専門性を感じまたスキルアップできたと実感したから
◆テーマ別交流会
「ひろば」で課題になっていることを他のひろばの状況など聞き、参考に出来るものを取り入れている
講義を聞くのはいいのですが、それぞれの拠点での様子を聞くのもとても勉強になると思うから
じっくりと深い話ができそうだから
交流会はいろんな施設との情報交換ができるから
オンラインで手軽に参加でき、学べるとともに、全国の実践を知ることができる
興味のあるテーマ・学びたいものを選ぶ
交流会での、情報交換がとても参考になる
他の広場と交流は必要
◆利用者支援専門員のひろば
相談業務が増えてきているため
利用者のニーズが広がっているため
事業自体の理解にまだ差があるように感じるため、研修の開催はとても意義があると感じる
専門員の意識や対応の難しさなど、直接関わっている人にしかわからない人と繋がれること
支援員同士の交流で情報交換をしていきたい
利用者支援についての研修は他ではなかなかない
実践力の向上のため(類似回答複数あり)
他の活動を聴きたい
◆調査研究
全国規模のネットワーク組織として、先頭に立って、課題を見つけ調査研究してほしい
現状を知り何が必要なのかどうあるべきなのかを示していただけるから
意見書の提出における根拠として利用者の声や、様々な数字が必要だと思う
実際の現場のニーズをタイムリーにしかも全国規模で調査することはひろば全協にしかできないから
なかなか1ひろばで調査研究はできないため、親子のニーズや今の課題を客観視するためにもたいへん参考になるため
実態を調査研究することで、より良い支援を考えていけるから
調査結果から社会情勢やこれから必要な事業などの最新の状況を知れるから
◆意見書の提出
拠点のまとまりとしての政策提言は有効だと考えるため
調査等で全国の傾向をつかんだ上でニーズに沿った意見をまとめ届けてくださっていて参考になる
現場の声を行政に届けてほしい
よりよい子育て支援や子育て環境につながるから
ひろばの価値を高めるためと、予算を多く確保するため
支援者の要望も聴いて欲しいから
現場の声を一つに集結して国にあげていくことはひろば全協にしかできないと思う

◆情報紙
何がどのように行われているのか知る事が大事
情報紙を通して他広場での活動様子を知るや新しい取り組みのヒントがもらえる
ゆっくり目を通すことができる
◆リーダーシップ研修
同じ立場の仲間ができるのも嬉しいし、次に繋ぐためにも必要だと思う
研修に参加させていただき、とても勉強になりました。今に生かしています
他のひろばのリーダーの方の考え方や対応についても知ることができる為
コンパクトに拠点に関わる職員が「リーダーシップを学ぶ機会はない(自団体や自分で作ることは難しい)」と思われる
リーダー同士で学ぶ機会がなかなかないから
拠点の管理運営の課題について、リーダー同士で学ぶことができる機会は他にないため
◆運営相談
相談機関が数少ない
色々なアドバイスをいただきたいです
困り事に対応してくれる機関があると思えることが心強い
◆ひろばコンサルテーション
以前お願いした際、悩んでいることについてアドバイスいただいたり、広場の問題点に気づかせていただき大変勉強になった
円滑な運営、スキルアップを行うため
以前受講。スタッフ同士、お互いの理解が深まったり再確認しあえたりと良いきっかけになった
◆ブロック別交流会
他の地域ではどんな活動が行われて、学べる事を知りたい
さまざまな団体と交流することで意識の変革、学びが期待できるため
その後の交流のしやすさにつながりそうから
◆ホームページ・インスタグラム
インスタグラムは手軽に見られるので助かる。様子も分かりやすい
広く周知するために必要であるため
よく見えています

4. 改善点や要望があるものを最大3つ選択してください(複数選択可)



5. 改善点や要望があるものを選択した理由（前ページのグラフの回答の多い項目順に掲載）

◆全国子育てひろば実践交流セミナー(全国セミナー)
オンラインでも参加できるようになればうれしいです。(類似回答複数あり)
土、日休館でないひろば参加が厳しいので、日曜日1日開催や月曜開催もあるとよい
行政説明が難しくなるのは仕方ないのですが、もう少し、わかりやすくなりませんか
関心は高くスタッフにも参加してほしいが、遠方の開催は残念に思うことがある
交流の時間を延ばして頂きたい
遠方だと出かけていける機会がない
オンラインではなく、直接話を聞ける
◆地域子育て支援士(二種・一種)養成講座
金額が高すぎる(類似回答複数あり)
自主学習を取り入れるなどして、もう少し研修時間を短縮できないか
数年前にスタッフ数名で受講どう活かしたらよいか知りたいです。
管理者や責任者が集まるレベルの研修の場合は、管理者としての運営的な内容についてももっと意見交換ができるとよい
講座の時間が短く、十分な学びができない
◆運営相談
ファミサポの相談や他のところでの事例をもっとしりたい
どの様に活用すればよいか分からない(類似回答複数あり)
子育て広場を運営するにあたり税金の支払い方について
設備費・人件費などNPOの運営の仕方を相談できる窓口
◆リーダーシップ研修
学びたい内容が充実しているが、充実しすぎて、消化できない
金額が高すぎる
参加してもらいたいと思うが参加費が高いので、削ってもよいので安めがよい
これからのリーダーを育てるために
オンラインで受講できるとありがたい
◆ひろば保険(子育てひろば総合補償制度)
常設と出張ひろばそれぞれで保険に加入しないといけないのでセットがあるとうれしい
価格、保険の拡充(出張ひろば)(類似回答複数あり)
保険担当の方とのやり取りがスムーズだと助かります
◆初任者研修
聞くばかりではなく、意見を出せるワークショップや事例検討会
無料にして頂けると参加しやすい
◆プレママ・プレパパ向け講座のためのワークショップ
とてもいい企画かと思うので参加しやすくしてほしい
実践している内容を、詳しく知りたい
ひろばを利用するのは出産後の方がほとんどなので、プレママ達に広報するのが難しい
◆利用者支援スキルアップ講座
市町村から受託していない人も参加できるようにしてほしい
参加費用が高く委託費から捻出するのが難しいところが多いです
事例から学ぶ様々な対応について知りたい

◆地域子育て支援拠点研修(地方開催)
近くで行われたらうれしい
開催日数が少なく、出席にくい
関心は高くスタッフにも参加してほしいが、遠方の開催は残念に思うことがある
◆ブロック別交流会
定期的に開催してほしい
交流の時間を延ばしていただきたい
◆調査研究
1子育て支援拠点ではできないので、今後も取り組んでいただきたい
各地の拠点と連携して、自治体ごとに比較し政策提言できる場になるとありがたい
◆利用者支援専門員のひろば
事例及び地域性など、それぞれが抱える問題について安全に話し合える場であるかどうか
◆子育て支援コーディネーター養成講座
フォローアップが必要
◆フォーラム・公開セミナー
関心は高くスタッフにも参加してほしい
◆テーマ別交流会
同じ立場で働く方との情報交換の場は必要。県内や地域ごとに集まっての研修や情報交換の場があったらありがたい
ひろばに役立つテーマを取り上げ、もっと開催して欲しい
◆ホームページ・Instagram
情報量が増え、少し見えづらく感じます
拠点事業ってまだまだ歴史が浅く世の中に浸透していないと思うことが多々あります。インスタ等で広く発信してってください！
◆意見書の提出
唯一現場の声を汲み取る手段なので強化して欲しい
ひろば全協から提出されることに意義があるので、必要な時は提出していただきたい
◆予防型プログラム研修
利用者のニーズが変化している可能性があるので、ニーズをつかんで実施できるか？
◆ひろばコンサルテーション
コンサルテーションというのがどんなことをするのか把握できていなかったです
◆メールニュース
講座案内のチラシがあると周知しやすい
◆情報紙
同じ情報が重ねて届くと混乱する

6. ひろば全協に今後、新しく取り組んでほしいこと

◆行政へのアプローチや国の施策に関する情報提供
国の予算、新規の事業に対する勉強会や予算取りなどの情報など
拠点が伴走型支援を担っている自治体の取り組みの情報提供
行政との連携についての研修
◆他の実践団体との交流や共有
先進的な取り組みをしているひろばの見学や学習会(類似回答複数あり)
全国で他ひろばが「どんな場所で」「どんな特色を持って」行われているか写真や動画で見たい

◆専門知識の習得
子どもの人権に関する研修会
利用者同士や子ども同士で困ったシーンなどで、対応や声掛けについて。知っておくことにより対応の選択肢が増えるといい
相談対応の基本 傾聴に特化したワークショップなど
親子工作及び保護者向けのおもちゃ工作などの紹介やノウハウを教えて欲しい
発達の気になる子どもが過ごしやすいひろば運営の仕方など
利用者支援事業の実践の初任者研修会を、講座で希望する
地域子育て相談機関のスタートに伴って、相談記録や、ひろば記録についての研修
里親制度、特別養子縁組についてのセミナー
LGBTや養子縁組についてもっと子育て支援の場でも周知されてほしい
相談支援員のメンタルフォローについての講座
◆オンライン研修
ZOOMによる研修は参加しやすいため今後も多く開催してほしい
地域子育て支援拠点研修のZOOMより直接会場で話が聞けるよう開催してほしい
研修が全国で行われると参加しづらいため、オンライン開催だと有り難い
県の委託事業として子育て支援コーディネーター養成講座
コロナ禍の中でオンラインの便利さを知ってしまった。会場とオンラインの両方でセミナーを開いていただけるとありがたい
◆青少年期支援
0～18歳までの拠点も増えている中で、小学生以上の居場所の作り方を知りたい
◆産前産後支援
産後支援、赤ちゃん支援について、学べる場が欲しい
◆調査研究
地域ごとの子育て支援格差についての調査と、その格差が減る方向に働きかけ
◆人材育成
スタッフの求人面で悩んでいる。短時間勤務でスタッフが継続せず採用と教育に追われている。他の拠点はどうされているのか
◆父親支援
パパの座談会のすすめ方
男性の育児について、企業への啓発活動、提案を各地の拠点と連携して取り組んでももらいたい
父親に対する支援体制に関する講座や研究をおこなって欲しい(類似意見あり)
◆ICT・オンライン関連
SNSを使った現場管理について
子育て家庭への情報伝達の良い事例(紙媒体以外)を共有してほしい。SNS(特にインスタ活用)の良い事例を知りたい
全国の子育て広場でどのような活動をしているか一元化したサイトで検索できたら嬉しい
SNS、スマホ育児、最新のベビーグッズ
◆一時預かり関連
ひろばでの一時預かりについて、この資格があれば預りができるという資格の整備と研修
◆相談窓口
対応に困った時にいつでも相談できるような窓口を作してほしい
◆広報・その他
マスメディアへの周知
子育てひろば共通のキャラクターやロゴがあると、イメージの統一と認知度が上がるのではと思う

7. ひろば全協に対する意見や期待すること

◆行政との連携・情報提供・意見書
国の方針や動向についての情報を知らせてほしい。今までの情報が大変参考になっている(類似多数)
行政との意見交換、情報共有などを今後も期待している
ひろば事業の意義を広く理解してもらえるような働きかけを今後もお願いします
ひろば内での預かり事業は正直経営としては苦しい。政府に働きかけて欲しい
保育所のように、拠点のスタッフの地位向上も提言してほしい
色々と発信していただくことで、私たちの学びにもつながっているのが有り難いです
各県の情報提供
子育て世代の声をひろい、必要な支援が出来るように予算をつけて欲しいです
「地域子育て支援拠点事業」の職員も保育園等のように処遇改善のキャリアアップ加算の処遇改善を国に要望していただきたい
国とは意見交換が出来ている様で嬉しいが、県、市にまでひろば事業の大切さをわかってもらえるような取り組みもお願いしたい
国の方針、動向などの情報提供(回数)を増やしてほしい
拠点で事業を追加していくとき、国の制度が変わるときの情報提供やサポートを期待している
今後とも政策提言や調査研究など個々では難しい問題に取り組んでほしい
全国規模の働きかけをしていただき感謝
子育て支援への理解、必要性など広く知ってもらえるよう、利用者の声、支援員の思いなど今後もしっかり届けてほしい
◆会員組織・交流
会員が全国規模で増えることを願います！
地域別(近隣市)の交流をしてみたい
テーマ別交流会はとても良い取り組みだと思う。今後も続けて欲しい
多くの現場が交流会に参加して、共に考えられる場が増えれば良い
◆研修
広場の予算的に、金額が高い講習には参加しにくい現状。運営上、大変だとは思いますが、費用のあまりかからない講習が有難い
働く両親に協力している祖父母も利用しやすいひろばの仕組みなど、現代のニーズに合わせた新しいひろばのあり方の検討
正しい知識や、各支援での実践の交流が出来ると良いと思う
全国大会や拠点研修に参加し他拠点の取り組みの思いを直に感じ取れた。これからもこのような大会を多く開催して欲しい
オンラインではなく対面での講座や研修の機会を増やしていただきたい
長年活動している方の話を聞けるのは有難いが、同じ方ばかりだと興味を持ちづらい。活動歴の浅い人が奮闘する話も聞きたい
研修やセミナー等スタッフのスキルアップのためにもよろしくお願いします
子育て支援拠点として向上につながるので、今後も可能な限り参加したい
研修費用を軽減してほしい
研修費等が経費として認められないため研修などに参加できないのが実情
子どものいるスタッフが参加できるような研修も欲しいです
メールや情報誌、研修などでいつも学ばせていただき、有り難い
◆オンライン開催
研修が全国で行われると参加しづらいため、オンライン開催だと有り難い
オンライン研修での事業の理解やスタッフのスキルアップのための学ぶ機会
気軽に学べるオンラインが多くなり学びやすいと感じています。今後もオンライン講座を充実させていただきたい(類似多数)
全国子育てひろば実践交流セミナーなど、オンライン視聴できると非常にありがたい

◆情報提供
メールなどで、概要など詳しく情報を頂き有難うございます。勉強になります
講座等、大変充実しており、また国の情報提供、意見書の提出など、ご尽力いただきありがとうございます
地域を巻き込んでの子育て支援の事例を知りたい
各地の拠点の取り組みを拾い上げ、情報提供していただけるとありがたい
それぞれの拠点での実際の対応例などを、いつでも見られるようにしてほしい
各種研修や、情報の迅速な共有など、感謝です。全国のひろばへの広がりを期待します
◆運営相談
ひろばコンサルテーションや運営相談をもっと活用させて頂きたいと思います
ちょっとした課題のことや行政とのかかわりのことが気軽に質問できるとよい
◆広報
地域にいるためHPで必要な情報を確認しつつ運営しています
メールニュースで国の動向をいち早くお知らせいただけるのはありがたい。研修で全国の取り組みを知れる機会も設けてほしい
◆その他
子どもと高齢者との交流の場作り、地域みんなの居場所作りなどの取り組み方を学んでみたい
特に必要なものを3つに絞るのは難しかったです。どれも活用させていただいているので
学齢期の子どもの事も高めあえたらいいと思います
全協があることで運営のよりどころとなり、感謝している(類似回答複数あり)
子育て世代の人たちが安心して楽しく子育てができる環境を望みます
なかなか日程や調整がつかず参加できないことがありますが、良い研修が多いので参加したい

「会員と共に育てる豊かな地域子育て支援の実現」に向けて

アンケートに回答してくださった会員の皆さま、ご協力ありがとうございました。

ひろば全協は、定款にも記載している「**子育てひろばを運営されている方々とネットワークを組織し、情報共有、交流、調査研究、研修などを行い、地域子育て支援の質の向上**」を目指して活動してきました。

そして今年度は、その活動の価値や課題を確認しつつ中期計画を進めているところです。

今回のアンケートでは、温かい励ましと共に、「オンラインと対面研修」、「参加費」、「内容」、「最新情報提供」、「意見書への期待」など、多くのキーワードをお寄せいただきました。

オンラインと対面のニーズについては、一部事業の開催方法や開催地を隔年で変えていくことを考えております。参加費については、自主事業はオンラインの有料講座とし、国や自治体の委託事業では、対面形式の学びの機会を無料で提供していきたいと思っております。

さらに、住友生命様の「未来を強くする子育てプロジェクト」の助成金により、プログラム開発や無料で参加できる学びと交流の機会を提供できていることは、あらためて感謝の念に堪えません。

研修内容は、子育て支援員研修との関係や、有識者の先生の知見のもと、会員の皆さまの声も伺いながら形にしていってのものもあり、丁寧かつ慎重な検証が求められます。

お寄せいただいた声は、そうした積み重ねの先の更なるニーズとして真摯に受け止め、「会員と共に育てる豊かな地域子育て支援」の実現のために検討を重ねてまいりたいと思っております。

中期計画のキャッチフレーズ『ともに支える。こどもと家庭に寄り添う拠点』のもと、会員の皆さまのお力をいただきながら事業を進めてまいりますので、これからもよろしくお願いいたします。

NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会
〒222-0037 横浜市港北区大倉山 1-12-18-303
TEL:045-531-2888/045-546-9970 FAX:045-512-4971
Mail:info@kosodatehiroba.com
https://kosodatehiroba.com